

'74 ART FAIR 9.26/29 TOKYO UNIVERSITY OF ARTS



4F学内

芸祭

1974

芸術祭によせて

今年は「市民参加の芸術祭」として企画準備中であると聞く。

「閉された大学から開かれた大学へ」という言葉の一つの具現として、市民との交歓は大きい歓迎すべきことといえよう。芸術祭企画委員の諸君がこれに着目したことは、喜ばしいことであるし、またこれに視点を合わせての多彩な催しを繰りひろげるであらうことを今から思い、その成功を望んでやまない。

学生諸君が、日頃研磨した学問、芸術の成果をひろく市民に公開し、その行事を通じて交歓が行われ、地域社会の人々の理解と協力を得ることは、意義深いことと思う。

企画運営に当る学生諸君は、情熱を傾けてこの仕事に取り組んでいるしことであらうが、芸術家を志す者集りである本学の芸術祭が、その名と伝統にふさわしい品格をそなえ、またウイットに富んだものであって

欲しい。

元来、お祭りとは威勢のよいもの、賑やかなものであるから、諸君の青春を十二分にうたいあげるであらうが、ただそれだけに止まらず、在学生全員の参加のもとに、芸術の杜にふさわしい、そして「芸大の芸術祭」であることを希ってやまない。

学長 福井直俊



大学に於ける人間性の回復は、学生と教授と市民との信頼の回復と、それに伴う固い絆を築くことから出発しなければならないと思います。

最近の大学像を考えると、閉鎖性の強い形骸化した権威の砦としての認識から出発しなければなりません。

現代日本を先導してきた文明思潮は、物質文明偏重の激流となって人間自身を巻き込んできました。これは単に産業革命以降発展に発展を続けてきた現代産業構造そのものに焦点をあてることは出来ません。

つまり、あらゆる文化、文明の先駆者を世に送りだしたこの大学それ自体のありかた、そして現在かかえている大きな問題（学生・教授・市民の信頼なき関係）にわたしは学生として、視点を置かざるを得ません。

なぜなら、この状況下が将来にわたって永續する性格のものであるのなら、そこには、とり返しのつかないような奇形児が生まれる予測がたつからです。そしてそれは、やがて大きな社会問題へと発展をつづけ、

最後には自らの手で自らの生命を縮めることになるのですから。

中世期、イタリアで興ったルネサンス（人間復興）運動は、当時の社会、文化型態が現在のような社会状況が起因となって必然的に起ったものと考えられます。しかし、あの大運動が起っていく過程を想像する時、そこには自己の全存在を賭して時代への警鐘をやむにやまれず鳴らし続けた先駆者の測り知れない卓越した思考を感じないわけには行きません。

わたしたちが今日、この人間性喪失の、混迷の時代の真ただなかで芸術祭を開催することになったことは、以上の点から考えてみても、この芸大を再び人間復興（ネオ・ルネサンスと考えよう）の起点として、学生と教授との信頼の輪と市民参加のニューメディアとして着実にとらえていくにふさわしい「時」であるし、芸大生ひとりひとりの使命ではないかと思います。

このような、市民に大学を開放して行こうとする新

たな方向は、とてつもない作業となるでしょうが、誰かが先駆をし、ネオ ルネサンスのエボックメーカーとならねばなりません。

今年の芸術祭企画委員会は、以上の点を真剣に考えながら「上野の杜を開放しよう」をスローガンに、「市民参加の芸術祭」をサブスローガンに芸術祭をむかえました。

理想から現実への移行。

その第一歩として今回取り入れた市民参加。この企画の成功が次へのステップとなり、やがてくるネオ ルネサンス運動の鍵となることをわたしたちは確信して、さらに前進して行きたいと思います。

なお、芸術祭を成功させるために努力して下さった方々に、お礼を申し上げます。

’74年度芸術祭企画委員長 薬本武則

ART FAIR 74



美術学部



■油画科

油画の連中はどこに居るのかと思って「おーい油画家」と叫んでみたがどこにもいない。1学年50名はいるのだから200名はいるにちがいない。どこにいるのだろう。きっとアパートの個室の中で寝ているか、絵をかいているのだろう。運のいいやつはデートでもしているのだろうか？ 今年の芸術祭には皆、学校へでて来てくれよ。自己中心主義もいいだろう。こんな社会だもの、変に他人のことや社会のことを考えていると、自分は何処にいつてしまうやら、絵もかけなくなるし、ナニもできなくなるにちがいない。ケドネー、芸術祭参加の皆さん、だからといって芸大のためにひとはだぬいでくれてもよさそうなもんです。僕らの学校だもの。どうでしょう？ こころへんで一ぱつやってさっぱりするのもいいもんです。体や精神衛生のために、キチガイにならないようにガンバロー。

■日本画科

以前、杉山寧の「穹」という絵を見たことがある。僕が16才のときである。「穹」はそのとき、実に堂々としており、「立派な絵だなあ」と思いながら絵の前で立ち尽していたのを記憶している。それ以来、僕は、立派に生きること、すなわち善い人になろうとすることによってのみ善い絵が描けるようになるのだと信じてきた。今でもそう思っている。しかし、残念なことに、そのように考えているというのは、実際そのように生きているということとは違う。

夏休みに、金沢の金箔師をたずねてみた。10センチ四方の金箔を22センチ四方の大きさにまでたたける人である。だが箔師70年というその人でさえ、金箔は大正時代のほうがすぐれていたという。たった一つの技術でさえも、それを伝え、維持していくということのいかに困難なことかを知らされた。

若い頃の理想や情熱を、大人になっても維持していくということ、これも同じく困難なことである。ことに精神というものは、腐敗しやすい。まして最近の悲観的な風潮のなかで、理想だとか善だとか言っていると、回りの人の失笑さえ買いかねない。しかし、笑われてもかまわない。僕は、「善い人のみ善い絵が描ける」と思いつづけている。



■芸術学科

芸術学科は、美術史・美学・美術教育を勉強するところだ（と思うけれど、諸君どうだろうか？）。芸術学科というきわめて非具体的な呼び名には、その他、絵も描き、語学も身につけ、哲学もかじり、芸術理論のためなら、何でもやっちゃおうという悲願が込められているのだ。やらなければならないことが何かいっぱいあるようで、毎日、「ああ、フランス語の予習をしなくっちゃ」「ええと、絵はきょう中に仕上げなくちゃ」「これを、図書館に行って調べなくちゃ」「あの先生の講義に出席しなくっちゃ」などと、多事多用を嘆きながら、キャンパスを行ったり、来たり。誰かに、「そんな美術史とか、美学とかいうものをやって、何のためになるんだい？」と言われて、自分のやっていることが疑問符になることもある。ときには、仲間同士、芸術論を熱っぽく語り合ったり、美術の研究や絵の制作に生きがいを感じることもあるけれど、なんとなく、やることなすこと中途半端で、空気のような芸大の中で、ブカブカ漂流している84人のロビンソン・クルーソー。これが、芸術学科の生態なのでアリマス。

■工芸科デザイン専攻

電車のつり革に疲れたからだを任せ、何も考えずに自分の部屋に帰る。そんな一見平凡な毎日の生活の中に、常に何かを求めて、小さな手を伸ばす。それがどんなに微少なものであっても、そんなことは、問題じゃない。また今日も小さな手を精いっぱい伸ばす。ある日人は、自分が真暗闇の中で手を伸ばしているのに気がつき、ふと小さな手をひっこめてみたりする。そして、わずかな光でも見つけると、また手を伸ばす。そう今度は、前よりも大きくその手を。こんなくり返しの中で、我々はいつも小さな頭をひねっているような気がする。デザインは、やはり生活の一部であり、人が生きてく上では、なくてはならないものなのである。ある日、突然、フット・浮かんだアイデアが、もしあなたの手を伸ばす何かに役立つのなら。そして、そこに自然に言葉が生まれ出るような、小さくてもいい、あなたの心をとらえる、そんな表現をしてみたいのです。

■工芸科工芸専攻

あなたが若し、恐怖のツチノコが存在を信じない人ならば。工芸科の実体は、あなたにとって、興味深いものである以前に、恐怖や戦慄に満ちた驚きであるはずです。何故なら、工芸科生の一見、親しみ易い、あ

りふれたほほえみは、皮一枚下に、あのツチノコの神秘をも遙かに凌駕する宇宙を醸造して居るからです。その毒気は時として、何の予告も伴わず、一種の屁の様に発たれ、素早く、強力に、空間を占領して、周囲を不安のどん底へ陥れるのです。しかし心配は無用。一つの形式に則ったこの厳粛な生理は、やがて人々を生活の造形へ指向させ、そしてこの度重なる放屁のかたちは、激しい苦痛をもって、ひり出された濃密な一つの糞によって成就するのです。工芸こそ、この滋味豊かな糞のムーヴメントそのものです。「芸大において前代未聞の偏執的な熱情で、ママ、俺は常にやるぜ!!」ツチノコを捕えろ!! そうすれば、信じてみようかなとも思うだろう。

■建築科

春の日。今日も、まだ新らしい「定規で、無心に線を引く1年生の彼がいる。講義が終わるや否や、急ぎ足ですぐに製図室に房ってきては、オレンジジュースを片手に仕事をしている。まだ芸大というこの学校に不慣れなのか、校内を歩く時もかつてが違ふようだ。先輩に会うたびにきまり悪そうにうつむいている。確か、勧迎コンパの時にはビールが飲めないと言っていた。

暗くなっても製図板にかじりついている。用務員の人から、8時になると追出されてしまう事に、少々不満なようだ。夜もふけ、彼も他の仲間達と一緒に上野の町中へと赴くのだろうか。夜空にうかびあがる工芸棟の影、それと窓からもれる電燈の光に、芸大に入ったという事実を確かめていることだろう。

課題のメ切りが近づき、彼の顔には次第に疲れが見え始める。ジュースの空きビンが机の脇に行列を作っている。彼はデザインの意味や建築の意味を考えているのだろうか。とにかく彼は、ただひたすらに課題を仕上げることにエネルギーをそそいでいる。新しい何物かを探しているようだが、まだ何も見つけないうちに毎日が過ぎていっているようだ。だけど、もしかすると、何かヒントを見つけているのかもしれない。課題の提出の前日には徹夜までしていたようだ。疲れてはいたが、彼の顔には若さがある。確かに小さな何かを見つけたようだ。建築家の卵という表現がよく似合う彼は、芸大の冬の寒をまだ知らない。

■彫刻科

芸大名物、数ある中で、彫刻科の畑で、女のいいの

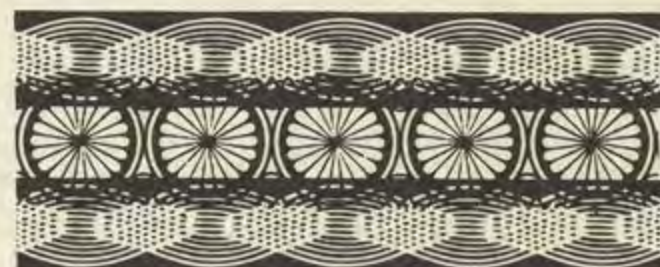


が、とれないのは、有名であります。とれた女は、力が強く酒のみで、男顔まけなのです。本当に、マケソ一なのです。

男も負けじと、酒をのみ酒でもって、フッストレーションの解消をはかりますが、あまり効果的でないようで、いつもくすぶっております。酒をのむから痔になるのか、総じて痔が多く、女の人より、多く出してるようです。酒が原因でない痔もありますが・。

みんな、助平で、いつもうえております。みんな、金なくて、いつもうえております。白木卓のハマキおじさんに、みんな、よくいた、風ボウをしています。土方が得意な人が、多く卒業したら、現場かんとくになりそうです。コンパは、煮込みと、マトンの鉄板焼が多く、今度、銀座に店を出す計画があるようです。目標 427店です。では、又来年。

音楽学部



■器楽科

器楽村というのは、ピアノ、オルガン、弦楽器、管打楽器という、いわば芸大の花形ともいふべき存在です。

ピアノ科というと、百恵ちゃんみたいなかわいし子が多いというウワサの全然ないところですよ。弦楽器、管打楽器の連中はしばしば、伴奏をお願いするのです。いつも「あなたとだったら、何でもできる」と快よく引き受けてくれるのであります。このように話すと女の子しかいないのではないかと思われるかも知れませんが、実は女の子にかこまれて、ささやかに頑張っている男の子が少々いるのです。弦楽器には、男性も結構多く、アランドロンばりの、みにくい顔がそろそろっております。女の形をした楽器をつねったり、さすったり、こすったりするのであります。器楽科の中で最も艶っぽい音が出せるはずですがなかなかうまくいかないようで、実技修行をもっとする必要がありますので、実技修行をもっとする必要がありますのではなかろうかなどと思っております。管楽器、打楽器というのは半分以上が男性でありまして、数あるうちには、いい男も存在しているようであります。酒と女の好きな連中の集まりでして、二日酔いで演奏することもしばしばあることです。女の子は、なかなか美人ぞろ

いが多く、恐れ多くて、誰も寄りつかないほどです。

いづれにしても、この器楽科、いろんな楽器をあやつる名士ぞろい。楽器も顔もバフエアーに富んでいます。

どうか芸術祭のひとつき、楽しく演奏をお聞き下さい。

■指揮科

1号館2階の片すみにある指揮科教官室が指揮科の学生及び教官のたまり場で、時にはお茶を飲みながら、勉強にそしんでいます。普段は演奏の機会が少ないためにひまな科だと思われがちでありますけれど、芸術祭となると、魚が水を得たように活動を活発にします。現在学生数7人。それに対して教官4人。指揮者になるためには音楽上のことの他に様々な経験が必要だと名うって、口ではチョツと云えない様な事をしているという噂もチツホフ。

新一年に指揮科創立以来初めてという女性もまじえ、我ら指揮科学生は、ともあれ、社会的にも人間的にも非常に立派な先生方が多くおられるということが生徒としては最も幸福なことなのです。

■邦楽科

今日、日本全国に音楽大学と名のつく学園は、まさに驚異的な数をかぞえます。これは一応、小中学校以来における音楽教育の水準が質量ともに向上した結果であり、全体としての国の文化的水準の向上発展に負うものでありまして、誠に慶賀すべき現象といわねばなりません。今や日本列島は、音楽が百花斉芳し、万家争鳴する状態であります。

ただその中で、日本伝来の音楽、芸能に親しみ、その独自の境域をさくろうとするものが意外に少ないのは何故でしょう。

わが芸大邦楽科はその「歴史的な問い」にみごとに答えているのです。

邦楽科の中には、長唄、箏曲、能があります。邦楽というと、一般の人々には、その活動の対象が古典と呼ばれる、文化面に於いてかなり複雑で、わかりにくい分野に心を投じていると思われがちですが、それは古典を即「古いもの」あるいは「象徴」としか受けとらず、「伝統を重んじて発展のないもの」と解釈されるからではないでしょうか。

古典とは、決してそういうものではなく、ましてや邦楽科の学生は、日本古来の精神的構造の上に立脚しながらも、常に古典を私達の時代に適応させた形で創



造し、かつ改革に取り組んでいるのです。

また何でもそうですが、私達はこの日本の伝統芸術を研究しながら、同時に「人間形成」に心することも決して忘れていません。だから邦楽科の学生には人格者が多いのです。

■声学科

声楽科の学生は閑なのであるだろうか？

「今日は木曜日、やっと合唱がおわった。さて、キャッスルに行こう、午後は授業ないんだ」。かくして、私は「キャッスル」で貴重な2時間余りを使ってしまった。

数少ない練習室で、長そうで短かい4年間の毎日、2、3時間たっぷり発声練習し、又、オペラ、アリアや、リートでも歌っておれば一歩でも一歩でも早く、すばらしい声のすばらしい声楽家として進展できるのかも知れない。しかし、練習室にとじこもって、歌ってばかりしていることのみで、声楽家を志せるものであろうか。私は、これは、はかない春の夢でしかないと思うのである。

「たらふく食へて、たっぷり眠る」これは人間である以上誰でも願う、動物的な根本的欲求であろう。しかし、この「せちがらい」世において、必ずしも可能なことではない。しかし私歌科の学生にとって、歌うという道程におき当然のごとく強要される難問である。私は自称、楽観主義者である。夜は充分眠り、食後は満腹であり、食事には充分な時間を消耗する。そして、食費は多くの金を使ってしまう。だから月末は、いつも金欠状態である。でも私は、苦にはならない。そのうち奨学金が入るし、親からの送金もあるだろう。

なぜ私は、全てを楽観視するのであろう。なぜ私は、金がなくてもものんびりと入金を待てるのであろうか。なぜなら、私は、とにかく歌ったいのである。1時間歌えば多大なエネルギーで消耗し、非常に病れる。だから充分な栄養をとり充分に眠るのである。かつ、歌うために貴重な時間を消やしてコーヒーを飲むのである。私にとって、一時間ピアノとお見合いするより、2時間キャッスルに居る方が重要なのである。だから私は少しも閑なのではない。歌うということは、発声することで自個を表現するのである。だから私は、自分の楽観主義を最大限に表出するために閑なのでありそして歌うのである。

■楽理科

——学生さんですか。

A ええ。

——で、どちらの？

A 芸大です。

——ピアノでもお弾きになるんですか。

A いえ、それもやりますけど、私は楽理科なんです。

——ガクリ科？ 何するんですか。

A 音楽学をやるんです。いろいろ学問的な面を。

——すると作曲なんかなさるんで？

A いえ、理論研究はしますが、作ったりはしないですよ。

——じゃ、指揮ですか

A いや、そんなんじゃないくてですね 音楽史だとか美学とか民族音楽とか

——へえ ?? で、卒業したら何になるんですか。

A さーあ。何でしょう ???

楽理って、私たちにもよくわからないほどあいまいですが、反面、自由でつぶしがきくのであります。バツハだのバツカスだの研究している人、井上ひさしにも匹敵する天才的少女作家、学士号証書のcollectionで個展を開いた人、ドン・ファン的人生を謳歌する人、毒物処理専門の関取、変な外人もいるでヨー。

それはともかくとしても、やはり楽理科は音校内では随分ママ子扱いされているようです。——「君、何科？」「楽理です。」「なんだ、ガクリか！」それは単に楽理への理解の浅さかもしれません。でも私には、現代が音楽学に要求している何がしかの問題に対して、音楽学がそれに能動的に応える真剣な努力を怠って、観念論的主知主義に陥っていることへの不信があるのではない かと考えてなりません。

——某先輩いわく「楽理科とは、楽理の楽という字を学と書きまちがえる人々に対して躍起になって抗義する人々の集まりである。」



■作曲科

作曲科のヒトって何やってんの？ 作曲科のヒトって誰一れ？ 「ほら音楽学部のロビーあたりで用もないのに物欲しそうに、女の子ばかり見ているアノ人たちですよ」

作曲科のヒトの苦労を知ってるかい？ 作品発表ともなれば、いつものロビーでウロウロしながら顔見知りの演奏家が来るたびにもみ手をしながらボン引き兄ちゃん風にヒフヒフとその前へ泳ぎ出て、「ねエ、今度やってくれない？」と柄にもなく猫なで声。作品発表と聞くだけで、うさんくさそうに眉をしかめ、アレルギーを起こし、拒否反応を示す演奏家に「まア、いいよ」の一言を言わせるまでの、苦心サント。アレコレ考え、そろそろ書くゾと決心しつつ酒をくらってヘソカきながら寝たりしているうちに、約束の脱稿予定日はしだいしだいに近づいて、やがて遠い過去へと過ぎていく。さてそれからが作曲家の修羅場。鬼のようにやってくる催促の文句に耐え抜いて、夜逃げの荷物をまとめつつ、「ウーム、作曲するというのは便秘している時のようなもんだナ。」とボヤキながら、見つめる五線紙、無情に白い。ええい！ ままよ、とばかりにエンビツ振り上げ、髪ふり乱し、ベートベンもブラームスもクソくらえ。ペーの字よりも良いのは誰だ、百恵か美代子かアグネスか、いやいや良いのは俺ひとり、俺もそろそろこのへんで、とナルシズムの権化となり果てるとそこはどたん場の正念場。こわばる手で最後の音符を書き入れる頃、空はしだいに白み始め、スズメ騒しく鳴き始める。戦いすんで夜が明けて、見れば机は吸いガツの山、消しクズの波いつの間にか書きあげたばかりの譜面の上でウトウト、眠り始めた彼 見果てぬ夢を見続ける旅人。

(K)

JEAGAM®

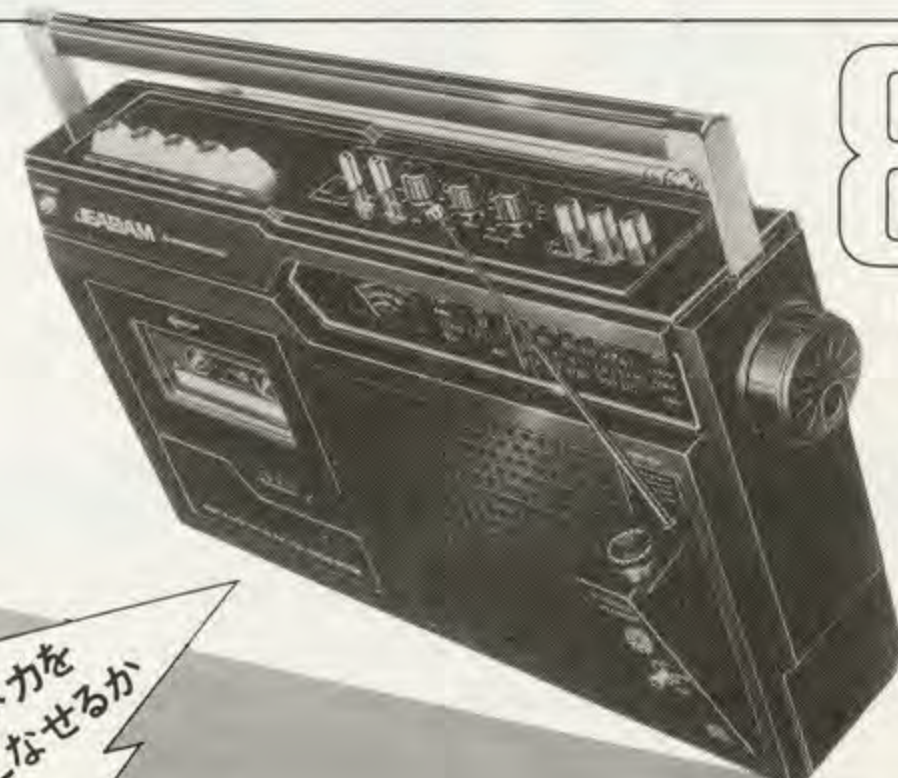
出たなっ!

いよいよ
発売〈ジーガム〉
第2弾。8WAY MICを
たずさえたラジオカセット
「音録り魔神」の異名をとる
スーパーマシンの登場です。

音録り魔神



君はこのメカを
使いこなせるか



8WAY MIC

FM/MW/SW
3BAND
RADIO-
CASSETTE
JR-5500
¥43,500



コカ・コーラは The Coca-Cola Company の登録商標です

スカッとさわやか
コカ・コーラ



東京 コカ・コーラ ボトリング 株式会社
TOKYO COCA COLA BOTTLING CO., LTD. <コカ・コーラ指定会社>

REMBRANDT ARTISTS' OIL COLORS MADE IN HOLLAND
FLYING EAGLE ARTISTS' OIL COLORS MADE IN CHINA

内外の洋画材料を豊富に揃えています。

中国画材株式会社

豊島区南池袋 1-21-8 TEL. 988-6531

池袋東口西武前

● 注目をあびる驚異的な合格率の **新宿美術学院** ●



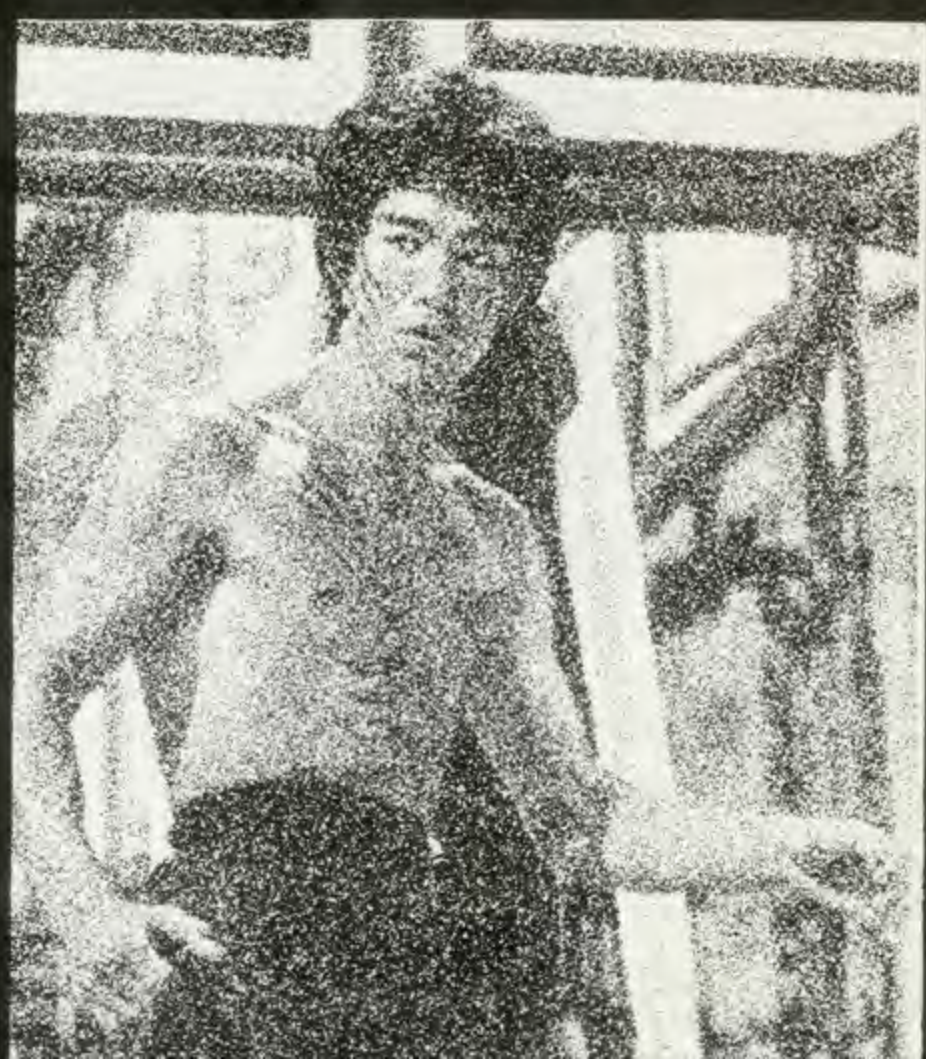
● 油絵科 ● デザイン科 ● 日本画科 ● 油彩研究科 ● 彫刻科

● 夜間基礎デザイン科 ● 日曜受験コース ● 土曜クロッキー教室

〒160 東京都新宿区新宿 2-8-5 TEL (356)0811・0826 国電新宿駅東口より徒歩10分・地下鉄新宿御苑前駅直前

映画

27	第1 講義室	第2 講義室
2:00	アニメーション (実験映画制作部)	5分間アニメーション 結婚しようよ (個人)
12:00 28 2:10 4:00	関東破門状(日活) 小沢啓一監督作品 主演・渡哲也、丘みつ子 1時間30分 講演 フェリーニのローマ(ユナイト) フェデリコ・フェリーニ監督 作品脚本 フェデリコ・フェリーニ他 音楽 ユージン・ロータ 1972年度キネマ旬報第2位2時間00分	特別付録1 渡哲也の無頼シリーズ予告篇 ・無頼より——大幹部 ・大幹部——無頼 ・無頼人斬り五郎 ・無頼黒七首 ・無頼殺せ
11:00 29	旅の重さ(松竹) 斎藤耕一監督作品 脚本・石森史郎 音楽・よしたたくろう 主演・高橋洋子 1972年度キネマ旬報第4位 1時間30分	特別付録2 男はつらいよシリーズ予告篇 ・全シリーズの中から5本
1:00	人間革命(東宝) 舛田利雄監督作品 脚本・橋本忍 主演・丹波哲郎 2時間39分 (東洋哲学研究会主催)	
4:00	青幻記 遠い日の母は美しく (青幻記プロ=東和) 成島東一郎監督作品 脚本・平岩弓枝他 音楽 武満 徹 主演 田村高広、賀来敦子 1973年度キネマ旬報第3位 1時間57分	特別付録3 ブルース・スリー他のドラゴンシリーズ予告篇 ・ドラゴン危機一発 ・片腕ドラゴン ・ドラゴン怒れタイガー ・ドラゴン危うしタイガー ・女ドラゴン決闘の館



講演

演劇

28日(土) 第1講義室 2時10分～3時50分

講演 仏法における煩惱論

川田洋一医学博士
(東洋哲学研究会)

28日(土) 第3講義室 2時～5時

映画と講演 (聖書研究会)

28日(土) 3時
29日(日) 2時, 5時
音校第2ホール

演劇 (グループ“あ”)

ラブソティ
サロメによる狂死曲

第1幕・「サロメ」
第2幕・狂言
第3幕・阿部定

オスカー・ワイルド原作「サロメ」のテーマを名和田東子が三幕に展開。青島広志の音楽を加え、神聖なる野性劇、野性なる神聖劇、血と生と死の燃焼する舞台づくりを目指す。上演2時間。

男の全身をあざやかに
まとめるドレッセルM

●マイケル・ステーン社との技術提携による日本製

DressWell M JIS規格・JISサイズを誇る本格派

マツザカヤ男を主張するシティスーツ

ドレッセルM

●本館2階

ネクタイ・カラーシャツ・ソックス・シューズ・ビジネスバッグ

●本館1階

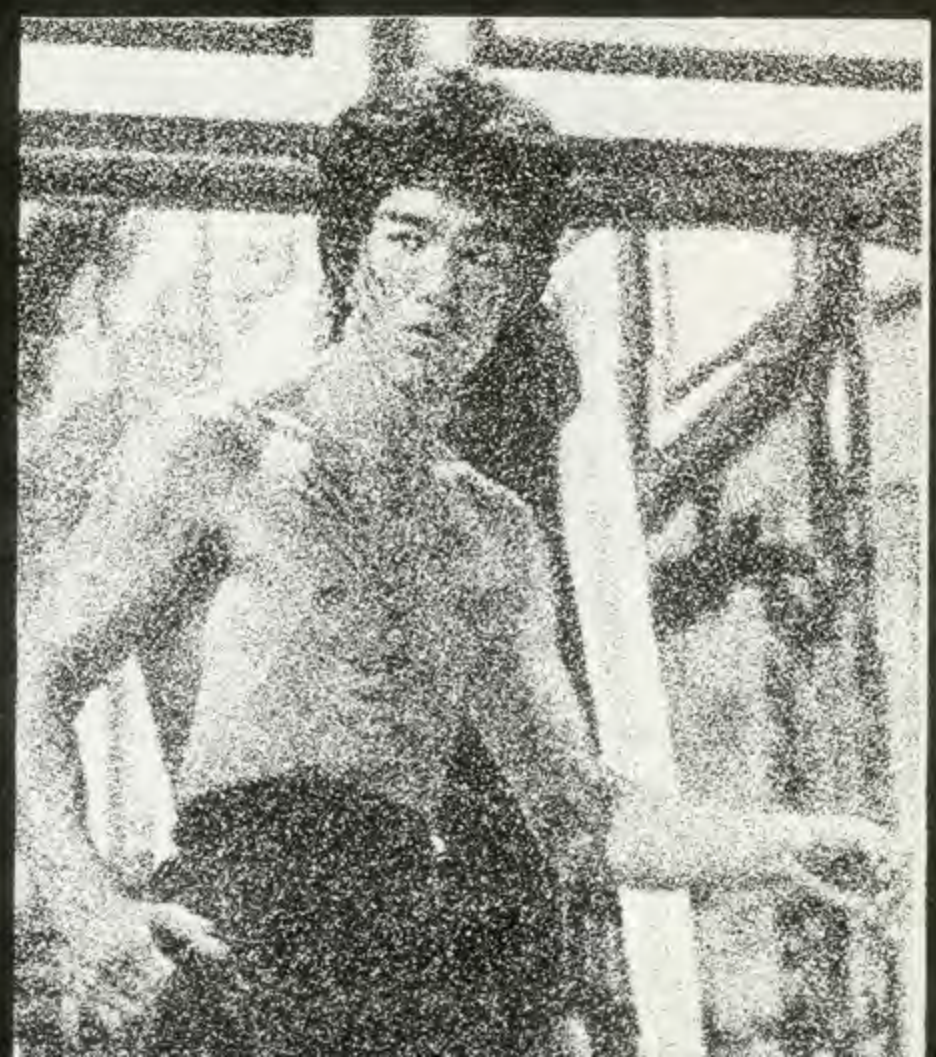


上野
松坂屋

電話 832 1111 (大代表)

映画

27	第1 講義室	第2 講義室
2:00	アニメーション (実験映画制作部)	5分間アニメーション 結婚しようよ (個人)
12:00 28 2:10 4:00	関東破門状(日活) 小沢啓一監督作品 主演・渡哲也、丘みつ子 1時間30分 講演 フェリーニのローマ(ユナイト) フェデリコ・フェリーニ監督 作品脚本 フェデリコ・フェリーニ他 音楽 ユージン・ロータ 1972年度キネマ旬報第2位2時間00分	特別付録1 渡哲也の無頼シリーズ予告篇 ・無頼より——大幹部 ・大幹部——無頼 ・無頼人斬り五郎 ・無頼黒七首 ・無頼殺せ
11:00 29 1:00	旅の重さ(松竹) 斎藤耕一監督作品 脚本・石森史郎 音楽・よしたたくろう 主演・高橋洋子 1972年度キネマ旬報第4位 1時間30分 人間革命(東宝) 舛田利雄監督作品 脚本・橋本忍 主演・丹波哲郎 2時間39分 (東洋哲学研究会主催)	特別付録2 男はつらいよシリーズ予告篇 ・全シリーズの中から5本
4:00	青幻記 遠い日の母は美しく (青幻記プロ=東和) 成島東一郎監督作品 脚本・平岩弓枝他 音楽 武満 徹 主演・田村高広、賀来敦子 1973年度キネマ旬報第3位 1時間57分	特別付録3 ブルース・スリー他のドラゴンシリーズ予告篇 ・ドラゴン危機一発 ・片腕ドラゴン ・ドラゴン怒れタイガー ・ドラゴン危うしタイガー ・女ドラゴン決闘の館



講演

演劇

28日(土) 第1講義室 2時10分～3時50分

講演 仏法における煩惱論

川田洋一医学博士
(東洋哲学研究会)

28日(土) 第3講義室 2時～5時

映画と講演 (聖書研究会)

28日(土) 3時
29日(日) 2時, 5時
音校第2ホール

演劇 (グループ“あ”)

ラブソティ
サロメによる狂死曲

第1幕・「サロメ」
第2幕・狂言
第3幕・阿部定

オスカー・ワイルド原作「サロメ」のテーマを名和田東子が三幕に展開。青島広志の音楽を加え、神聖なる野性劇、野性なる神聖劇、血と生と死の燃焼する舞台づくりを目指す。上演2時間。

男の全身をあざやかに
まとめるドレッセルM

●マイケル・ステーン社との技術提携による日本製

DressWell M JIS規格・JISサイズを誇る本格派

マツザカヤ男を主張するシティスーツ

ドレッセルM

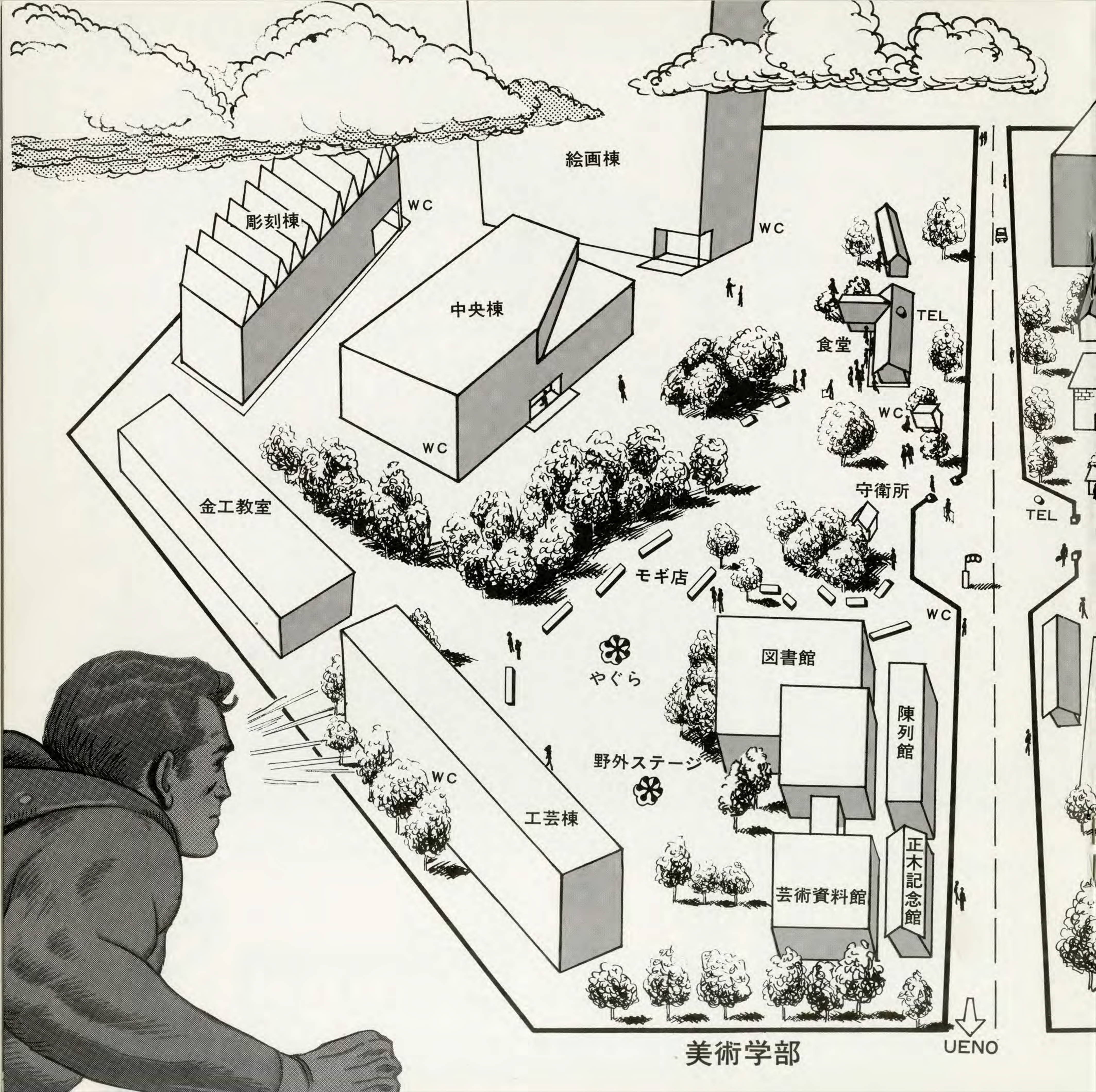
●本館2階

ネクタイ・カラーシャツ・ソックス・シューズ・ビジネスバッグ

●本館1階



上野
松坂屋
電話 832 1111(大代表)



絵画棟

彫刻棟

WC

中央棟

WC

金工教室

モギ店

やぐら

野外ステージ

工芸棟

WC

図書館

陳列館

正木記念館

芸術資料館

TEL

WC

守衛所

WC

TEL

美術学部

UENO



本館

モギ店

WC

モギ店

大学本部

WC

守衛所

奏楽堂

TEL

食堂

WC

1974
ART·FAIR
tokyo
university
of
art
案内図

音楽学部

PROGRAM

TIME

TIME

9:30

1 ベートヴェン オクテット 変ホ長調

ob. 斉藤亨久・高橋 淳
cl 内海良二・熊沢利紀
Fg 竹田雄彦・山上貴志
Hrn. 川辺信・沢 淳

宝生流舞囃子
安宅

大鼓
小鼓
笛
地謡

金森秀祥
佃 良勝
五木田紀子
藤田次郎
佐野芳男
渡辺他賀男
武田孝史

9:55

2 シューベルト 交響曲第8番 短調「未完成」
サン＝サーンス 交響詩作品40「死の舞踏」
ベートーヴェン 交響曲第2番 長調

Gond. 高木規世人 小塚 類 7

1年有志オーケストラ

モーツァルト バイオリンとピアノのための協奏曲
ブラームス バイオリンとチェロのための協奏曲

Vn. 古沢英子
Vla. 安藤史子
Vn. 山中 光
Vc. 寺井庸裕
Cond. 広井 隆

14:30

11:10

3 「伽耶琴」による韓国の民謡

伊藤由美子・浦本裕子
岡村千賀子・菊部きみ子
土屋啓子・後藤多恵子 山県敬子

11:45

4 モーツァルト セレナーデNo.9「ポストホルン」

Cond. 川合良一
学生有志オーケストラ

8 混声合唱組曲 高田一郎「水のいのち」

Cond. 中村 忍
Pf 児島一江
芸大寮生有志

15:55

12:35

5 4つのトロンボーン 4つの作品

萩 京子 憂鬱に関する4つの提案
菅野由弘 L'alchimie
吉川和夫 Concurrency for four Trombones
鈴木静哉 Papillons noirs (pour quatre Trombones)

Cond. 高木規世人

Trb. 吉田俊之 伊藤真介
花坂義孝 大矢成恵

B.Trb. 村上準一郎

9 モーツァルト フルートとハープのための協奏曲ハ長調

Fl. 黒田育子
Hp. 山畑かや
Cond. 広井 隆

16:40

13:25

6 能楽

観世流仕舞

嵐山
蟬丸道行
車僧

地謡

駒頼直也
津田和忠
関根知孝
一木美智子
二村恵子
河西暁子
佐々木洋子

観世流舞囃子
班女

大鼓
小鼓
笛
地謡

二村恵子
佃 良勝
五木田紀子
益田幸子
三木美智子
河西暁子
佐々木洋子

宝生流仕舞
吉野静キリ
山姥キリ

地謡

松川恭子
西川純代
金森秀祥
武田孝史
渡辺他賀男
佐野芳男
藤田次郎

観世流仕舞
兼平
玉鬘
善知鳥

地謡

佐々木洋子
三木美智子
河西暁子
津田和忠
関根知孝
駒頼直也

10 作品発表

寺島雅春 前田守一
2つのアンサンブルのための作品
松下功 ETWAS

Cond. 広井 隆
学生有志アンサンブル

17:25

11 バッハ 2台のピアノのための協奏曲ハ短調
ビバルディ 4つのバイオリンのための協奏曲ロ短調

Cond. 小沢純
Pf. 百川奈緒子 志田明子
1年有志オーケストラ

18:10

12 バッハ バイオリン協奏曲イ短調
バイオリン協奏曲ホ長調
2つのバイオリンのための協奏曲ニ短調

Vn. 蒲生克郷 奥うらら
天満敦子 細谷雄紀
Vla. 山田 純 Cb. 安保龍也
Vc. 前島直孝 Cem. 野平 郎

18:50

FRI

PROGRAM

TIME

TIME

9:30

- 1 ダンツイ バスーンクワルテット作品40/2 変ロ長調他
Bu 成田考司 Vn 福田啓子
Vla. 藤山マドカ Vc 山本恵以子

バイオリンソナタト長調

5:10

10:05

- 2 テレマン トリオソナタ
Fl. 中野富雄
ob. 斉藤亨久
Vla. 古沢英子
Vc. 寺井庸裕
Cem. 富米野玲子

- 12 J ラングレ
Invocation and Dance
Fl 塚本扇子
Ob. 定成綾子
Pf. 渡辺まどか

5:25

10:50

- 3 作品発表 原 博
木管五重奏 2年管楽器学生クインテット

- 13 シュ ベルト
ピアノ五重奏曲イ長調「鯨」
Vn. 奥うらら
Vla. 浦生克郷
Vc. 前島直孝
Cb. 安保龍也
Pf 野平一郎

11:15

- 4 作品発表 田中 えりか
1 弦楽四重奏曲
2 詩(うた) 3人のアルトとピアノのためのー

- 14 バッハ トリオソナタト長調 C P E バッハ
トリオホ長調 Fl. 秋田潤一 藤本千枝子
Pf. 太谷真実

6:10

11:40

- 5 作品発表 山本泰久
2本のフルートとピアノのためのソナタ
Fl. 近藤寿雄・根岸孝俊
Pf. 奥村晃博

- 15 打楽器ソロ曲
ミヨー
コンチエルト
ミハロビッチ
インプロヴィゼーション
ハッチ
シースケイプ
Marimba アンサンブル
ドゥイッシー
子供の領分より 他

6:45

11:55

- 6 尺八部演奏会
古 枯
末の契
北海民謡調
金剛石
瑞光 他 尺八 玉川寿昭・大島 彰
有賀秀典 中村滝雄
太井正則・他

Per. 石内聡明・石川 真理子
福田 隆

1:40

- 7 アルフレッド・デザンクロ
サクソフォーン四重奏曲
S. Sax. 鈴木英之
A. Sax. 吉田周生
T. Sax. 仲田 守
B. Sax. 服部吉之

2:05

- 8 ボ サ 夏山の一
ドゥッラー
ファンタジー作品35
Fl. 前川祐子・藤井倫子
大石嘉子・山田恵美子
Pf. 児玉美佐子

2:35

- 9 作品発表 堀切幹夫
1. 夜想楽(愛する少女へ)
2. ピアノのためにー10の夢ー
3. Ballade
4. 虹とひとと(ある少女との思い出へ)

3:10

- 10 チューバアンサンブル
ライヒャ・ホルントリオ 他
Tub. 向口和也・杉山 淳
木谷義宏・他

3:55

- 11 シュ ベルト
バイオリンとピアノの為の二重奏曲
野平一郎
バイオリンとピアノの為の小品
ルク

第1ホール

PROGRAM

TIME

TIME

9:30

- 1 モーツァルト 弦楽五重奏曲ハ短調K406
弦楽五重奏曲ハ長調K515
Vn. I 高畑壮平 II 清水謙二
Vla. I 三木冬子 II 青柳晴代
Vc. 津留崎直紀

- 10 バッハ ブランデンブルグ協奏曲

Cond. 重松正大
Fl. 大竹泰大
Vla. 東家典子
Cem. 富米野玲子
3年有志オ ケストラ

17:35

10:40

- 2 ビバルディ バスーン協奏曲ホ短調
Bn. 山上貴司
Cond. 広井 隆
学生有志アンサンブル

- 11 バッハ 2台のバイオリンのための協奏曲ニ短調
チャイコフスキ バイオリン協奏曲ニ長調

Vn. 城みどり・尾花清光
Cond. 薮島公二
学生有志オーケストラ

18:10

11:00

- 3 コレルリ コンチェルトグロッソ
テレマン ビオラコンチェルトト長調
ビバルディ 「四季」より春・冬
Cond. 井桁正樹
Vla. 中山良夫
芸大バロックアンサンブル研究会

- 12 ドボルザーク 交響曲第8番ト長調作品88
Cond. 加納由貴夫
学生有志オーケストラ

19:20

12:05

- 4 山田流演奏会
1 ほととぎす 箏 宮崎定江
三弦 瑞穂昌子
2 岡康砧 箏本手 玉井俊子 草間路代
下野洋子
第一替手 寺田真知子
第二替手 瑞穂昌子
3 那須野 箏 玉井俊子・大山英子
渡辺君子
三弦 高田和子
4 嵯峨の秋 箏本手 溝部靖子・都築一恵
箏替手 小池 延・瑞穂昌子
5 五段砧 箏本手 高田和子
箏替手 大山英子
6 熊野 箏 山田文女 佐藤順子
三弦 亀山香野

13:50

- 5 バッハ カンタータ第102番
「主よ汝が眼、信ずる者を見守りたもうに」
Cond. 小林道夫
芸大バッハカンタータクラブ

14:25

- 6 ブラームス 交響曲第2番
ワグナー 「タンホイザー」序曲
Cond. 川合良一
2年オーケストラ

15:30

- 7 作品発表
1 Oubade
2 花
3 Quartet (ぼく自身へ)
4 Sonate pour Flute Alto et Harpe
堀切幹夫
Hp. 高見映理子
Pf. 堀切幹夫
Cl. 金 元
Vn. 田原陽子・五十嵐由紀子
Vla. 中山良夫
Vc. 大木愛一
Fl. 黒田育子
Vn. 中山義夫
Hp. 高見映理子

16:25

- 8 長唄・神田祭 長唄専攻学生全員

17:00

- 9 ウィニアフスキー バイオリン協奏曲第2番ニ短調作品22
Vn. 大谷康子
Cond. 広井 隆
学生有志オーケストラ

SAT

PROGRAM

TIME

TIME

9:00

- 1 箏曲演奏会 山田流 嵯峨の秋 本手 西沢好子 出口順子
 替手 小杉光代
 生田流 昭和松竹梅 本手 中村純子 小田源子
 替手 鈴木佐知 鈴木順子
 生田流 高麗の春 箏 浅野真澄
 二絃 熊法子
 山田流 赤壁の賦 箏 佐藤弓子 横山充枝
 南木美穂
 生田流 五段砧 本手 猪口洋子
 替手 野本和子
 生田流 さしそう光 替手 亀田加奈子
 本手 熊法子

- 10 ラヴェル 1 なき王女のためのパヴァーヌ
 2 ソナティネ pf 亀川豊秀

17:25

17:50

- 11 モーツァルト バイオリンとビオラの為の二重奏
 Vn 清水譲二
 Vla. 中竹英昭

18:15

- 12 フォレ ピアノ四重奏曲作品15
 Vn 高畑壮平
 Vla 工藤京子
 Vc 八十嶋龍二 峠鳩
 pf. 安野文恵

10:35

- 2 生田会 1 砧 箏(高音)吉沢昌江・和森孝子
 (低音)佐藤真子 中村真樹子
 2 デルタ 第一箏 赤木弘子
 第二箏 吉崎克彦
 第三箏 松下千左子
 十七絃 熊本早苗
 3 秋の言葉 箏(替手)住川静子
 (本手)藤崎哲矢
 4 唐砧 箏(高音)吉崎克彦
 (低音)富島順子 松下千左子
 二絃 野寺もと子
 太棹三絃 石川順章
 5 石筍 第一箏 古前好子・富島順子
 第二箏 町田徳・野寺もと子
 十七絃 石川順章
 6 五段砧 箏(高音)古前好子 住川静子
 町田徳
 (低音)赤木弘子・熊本早苗

- 13 ブラームス ピアノとバイオリンの為のソナタ
 Vn 村上順子
 pf 菊竹則子

18:45

19:20

- 14 西村 朗 室内協奏曲(1974年)
 Cond. 広井 隆
 pf 中井はるひ
 Cem. 堀江真理子
 Trp. 中村等・織田準一
 横笛、益田幸子
 Per. 勝俣良治・明瀬由武

19:40

- 15 打楽器アンサンブル
 S フィンク LAURA SOAVE 谷戸 優
 道志の断層
 ウィリアム・ラッセル Three Dance Movements
 ミラー Prelude For Percussion
 Per. 河合尚市・中谷孝哉
 前田均・水谷光志
 谷戸優・山口多嘉子

12:35

- 3 フュルシュテナウ 序奏と華麗なるロンド
 Fl. I 山田恵美子 II 大石嘉子
 Pf 夢沼恵美子

12:55

- 4 作品発表 藤井 興 INVENTION pour 2 flûtes et
 Fl. I 野口 龍 II 白尾 隆 harpe
 Hp. 山畑るに絵

13:10

- 5 シューベルト「白鳥の歌」(全曲)
 Bar. 田中敏夫
 Pf. 渡辺まどか

14:15

- 6 トビュッシー 舞曲—ハープと絃楽の為の—
 1 神聖な舞曲
 2 世俗的な舞曲
 Hp. 山畑るに絵
 Cond. 高木規世
 1年絃楽有志

- 7 3年作曲科作品発表

16:10

- 8 フォーレ バイオリンとビオラの為のソナタ第1番
 Vn. 佐藤美都子
 Pf 藤井 興

16:40

- 9 連続特別演奏会第一日 「人体ソナタとは何か」
 演奏と講義
 1 講義と無伴奏人体ソナタ 正岡奈千代
 2 ピアノソナタ pf. 柳井 修

第1ホール

PROGRAM

TIME

TIME

9:30

- 1 邦楽 山田流
三つの断章
嬉遊曲
さらし幻想曲

箏 佐藤順子
箏 山田文女 大山英子
箏 高田和子 佐藤順子
Fl 大森義和

山田裕治 和田美亀雄
喜多原和人 花坂義孝
村上準 郎 鈴木 優

10:35

- 2 モーツァルト 交響曲第36番

Cond. 小塚 類
1年オ ケストラ

11:05

- 3 ドボルザーク チェロ協奏曲ロ短調作品104

Vc. 黒川正
Cond. 川合良
2年オ ケストラ

- 10 ドボルザーク
チェロ協奏曲ロ短調作品104
チャイコフスキー
ロココ風の主題による変奏曲作品33

Vc. 津留崎直紀
Cond. 広井 隆
学生有志オーケストラ

11:55

- 4 ハイドン トランペット協奏曲

Trp. 織田準
Cond. 川合良
2年オーケストラ

- 11 メンデルスゾーン
バイオリン協奏曲ホ短調作品64

Vn. 細谷雄紀
Cond. 川合良
学生有志オーケストラ

12:15

- 5 ムソルグスキ

展覧会の絵

Pf 小西千鶴

フォーレ

フォーレ歌曲集より

MS. 岩永良子
Pf. 小西千鶴

- 12 モーツァルト
クラリネット協奏曲イ長調K622

Cl. 内海良三
Cond. 川合良
E. D. 室内オーケストラ

13:20

- 6 邦楽演奏会

長唄 吉原省

下山千鶴・椎名千枝子
村石尚美・山川愛子
矢崎豊・他

山田流 寿くらべ

高野秀子 他

生田流 秋の曲

奥田温子 他

山田流 新潮

山田
大山英子・玉井俊子 他

生田流 道灌

制野貞子・西山美晴
原田早苗・他

15:50

- 7 ホアキン＝ロドリゴ

アランフェス協奏曲

ギター 紀井利臣
Cond. 大谷正人
学生有志オーケストラ

16:20

- 8 ショパン ピアノ協奏曲第2番作品21

Pf. 堀江真理子
Cond. 広井 隆
学生有志オーケストラ

16:50

- 9 トロンボーンアンサンブル

1 デュフェイ

トロンボーンクワルテット

2 トマジ

トロンボーンクワルテット

3 V ロボス

プレリューディオ

4 バッハ

パッサカリヤハ短調
Trb. 白石直之 萩谷克己

SUN

PROGRAM

TIME

TIME

9:30

1 モーツァルト
ディヴェルティメント K229
グランドマン
バガテル
G.D. カイト
イントラダー

Cl. 仲尾佳昇 須藤文子
Fl. 朝田 健・橋瓜恵一
Fg. 山本茂夫

Bas 橋本静一
Fl 大竹泰夫
Ob. 米山龍介
Vn. 東家典子
Vc. 大島富子
Cem. 竹股香織
Org. 田中久恵

10:10

2 ビバルディ
Ob. Fl. Vc. Hp. Cem. Org. の為の協奏曲ニ短調

Ob. 小畑義昭
Fl. 文川和男
Vc. 谷口節男
Hp. 二宅美子
Cem. 宇山康子
Org. 菊池泰子・他

10 ギター アンサンブル
バッハ
カンタータ No. 140 よりコラール
アルベニス
グラナダ
バッハ
ボロネーズ 他

渡辺俊治 他

15:30

10:30

3 フォレ
弦楽四重奏曲ホ短調作品 121

Vn. 蒲生克郷・奥うらら
Vla. 李 善銘
Vc. 前島直孝

11 シューベルト
ピアノ五重奏曲イ長調「鱒」

Vn. 天満敦子 渡辺哲郎
Vle. 渡木井賢
Vc. 堀内茂雄
Pf. 越智由美子

16:45

11:05

4 W. バド
五声部のミサ曲

S. 新田淑子
A. 村井はるみ
T. 阿部 純・松原秀樹
Bas. 田中敏夫

12 ドビュッシー
Sonate pour Flute, Alto et Harpe

Fl. 三上明子
Vla. 山崎陽子
Hp. 志村由美子

17:25

11:40

5 スメタナ 弦楽四重奏曲ホ短調「わが生活より」

Vn. I 田原陽子
II 五十嵐由紀子
Vln. 中山良夫
Vc. 大木愛一

13 ウィニヤフスキー
タランテラ
バガニーニ
モーゼ
クライスラー小品集
シュトラウス
ウィンナワルツ

Pf. 福士恵子
Vn. 尾花清光 城みどり
Cb. 松本行正
Hp. 赤松ナナ子

17:50

12:15

6 バッハ
「音楽の捧げ物」より
Fl. Vn. と G.B. のためのトリオソナタ
Ob. とオブリガード Cem. のためのソナタ
カンタータ第189番

T. 笠井幹夫
Fl. 立川和男
Ob. 小畑義昭
Vn. 蒲生克郷
Vc. 前島直孝
Cem. 野平一郎

14 パーカッション・オン・パレード
ポピュラーミュージック 他
打楽器専攻学生

19:00

13:10

7 即興演奏

堀切幹夫

13:45

8 連続特別演奏会第2日
「音楽とは何か」
1 講義と無伴奏人体ソナタ

正岡泰千代
Pf. 柳井 修

2 ピアノソナタ

14:50

9 バッハ
カンタータ No.140, No.33, No.101, No.8, No.78

S. 鎌田 恵子
A. 町村ひろ子

第1ホール

東京芸術大学芸術祭協賛画材店



編集後記

音のない雨が降ってきました
紅殻色の瓦屋根と朽ちかけた雨戸のつくる
細い闇の中には
いったい何が
ひそんでいるのでしょうか
いつからか鳩の巣も帰るものがないまま
あの親鳩はどこへ行ってしまったのか
瓦屋根の上につづく空は
もう色彩を失っています
その空のむこうで貨物列車がゴトゴトと
音をたてて過ぎていくのです
雨はやみました。

虹は
もうしばらくあの空にかかっておりません
何かがコトリと音をたて
カラカラとくずれてゆきました
風が静かにそれをはこびさり　そして
また雨が降ってきました
あなたはきっと知っているのでしょうか
私がどんなに長い間こうして
あなたを待っていたかを

ゴーストライター

委員長 葉本武則

副委員長 五木田聡

” ” 向口和也

事務局長 青木伸美

会計 山県敬子

展示 桜井千晴

演奏 笹井ひろみ

山口多嘉子

中山由美子

後藤 学

中川佳寿子

映画講演 五木田聡

野外ステージ 高鍋寛志

土田真美子

模擬店 山県敬子

杉山 淳

プログラム 松井郁夫

竹沢志郎

田中康之

福岡聖子

山岸悦夫

ポスター 大谷 信

印刷 The PARIS, NC.

好評を博しています!

ターナー〈油絵具〉

*全112色



明日の色をつくる

ターナー色彩株式会社

学校法人 服部学園

御茶の水美術学院

●本科 修業年限3年 全日制

デザイン部 グラフィック、インダストリアルデザイン

絵画部 油絵、基礎デッサン

●基礎科 修業年限1年 午前・午後・夜間

デザインコース、建築コース、日本画コース、油絵コース

彫塑コース、デッサンコース

特別クラス 高校在校生対象石膏デッサン

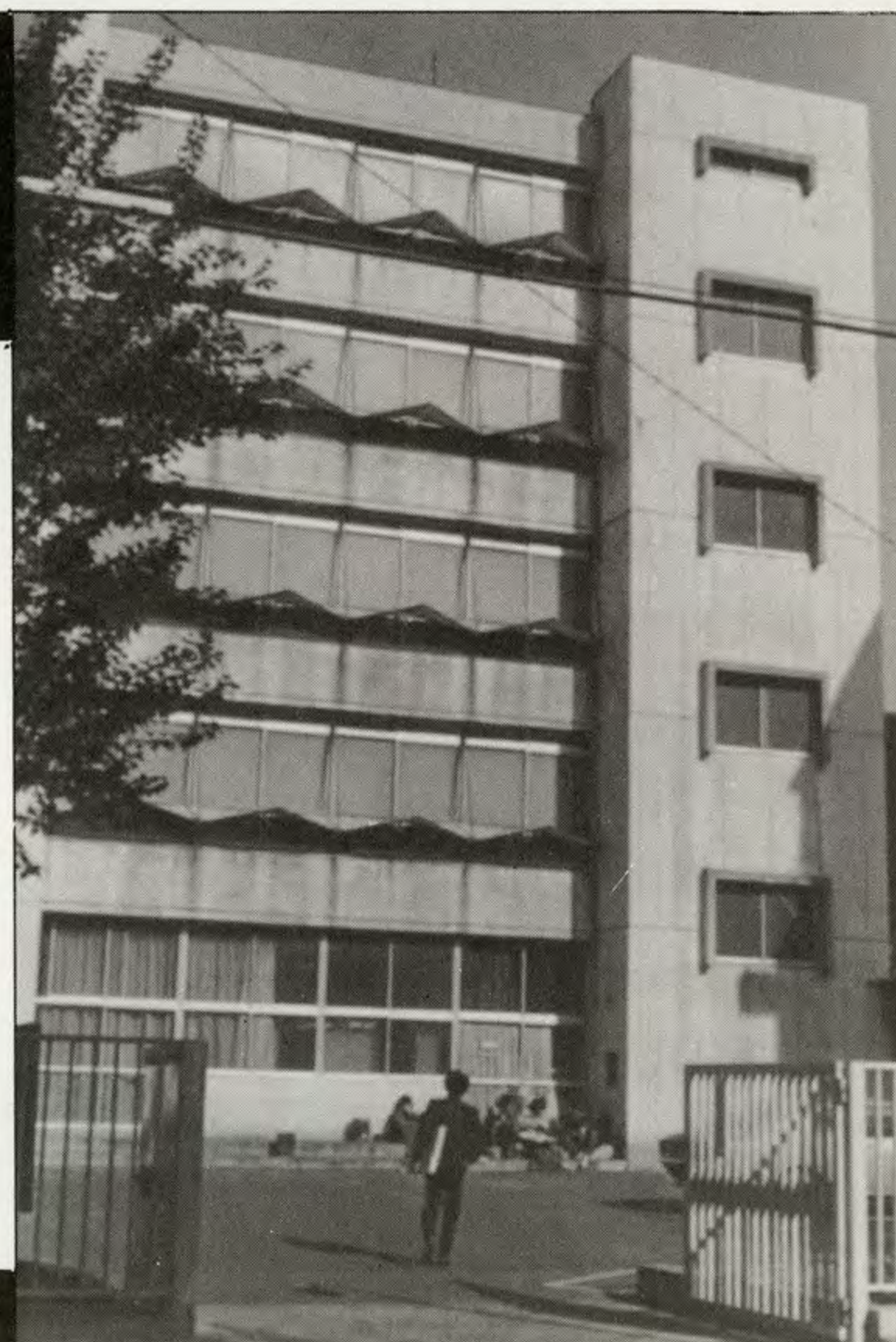
4:00p.m. ~ 5:45p.m.

●講習会 春期3月末~4月初 夏期7月末~8月末

冬期12月末

交通至便: 国電お茶の水駅(明大側)交番横徒歩2分 学院案内送料共 250円

東京都千代田区神田駿河台2-3 〒101 電話(03)293-8736(代)振替口座東京63949



お隣さん! サントリーール〈純生〉



音楽の秋
芸術が聴こえます。



ヤマハコンポーネント400シリーズ

プレーヤー	YP-400	¥39,000
レシーバー	CR-400	¥59,000
スピーカー	NS-430(×2)	¥30,000



日本楽器銀座店 1階オーディオ売場
TEL (572)3111 (内) 541~542

日本楽器銀座店ではクレジットによる
分割お支払いの方法もございます。
係までお気軽にお尋ね下さい。

'74 ART FAIR 9.26/29 TOKYO UNIVERSITY OF ARTS

